

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス
でいじーさつきが丘

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

15日

| | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|----|-----|---------|---------|--|----|
| 法人（事業所）理念 | | 子どもたちの「できた」の喜びを一つ一つ積み重ねて生きる力に繋げていきます。また、保護者様の「困った」に共に考え、寄り添う療育をご提供します。 | | | | | | |
| 支援方針 | | ・五感を通じて様々な体験の提供（季節のイベントやレクリエーション）・一人ひとりの個性に合わせた支援の提供（手先や体幹トレーニング）・集団活動の支援の提供（他児との関わりの中で思いやりや人とのかかわり方）・ご家族との連携を図り共に児の成長を見守ります。※以上をもとに個別支援計画を作成し、以下の支援プログラムを組み合わせた活動を行っていきます。 | | | | | | |
| 営業時間 | | 9時 | 0分 | 18時 | 0分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 登所時に検温や体調観察を行い、活動中も心身の状態を観察する。 意思表示が困難な児に対する障がいの特性や発達の過程・特性を考慮し、きめ細かい観察・対応を行う。（てんかん発作、体温調節等） 適切な手洗いや排泄等の支援、水分摂取を促す。また歯磨き指導の実施。また、声掛けや時計等を通して時間を守ることなどの習慣を図る。 | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 運動活動の中で一人ひとりの発達段階に応じた身体機能の維持・向上に努める。 バランスや筋力の向上を図る活動や運動を提供する。（体幹トレーニング） 感覚統合療法に基づく活動（ビジョントレーニング）等を通じて、楽しく参加できるように提供する。 | | | | | | |
| | 認知・行動 | 視覚、聴覚等の感覚を活用し、認知能力の発達を促すよう支援を行う。 発達段階に応じた時間や数の概念について理解を促し、実生活で活用できるように支援を促す。（TEACCH） | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 言葉遊びや歌を通じて様々な言葉に触れる機会を増やす。 活動の中で他児とのやり取りで適切な言葉の表現の支援を促す。また場面に応じた表情や発語から、児の気持ちを汲み取り共有、共感することで共同注意などのコミュニケーション能力の向上に繋げていく。 | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 他児や職員を通じて、他社との距離感や関わり方を学ぶ。 異年齢交流を積極的に取り入れ、他者を思いやる気持ち、敬う気持ちを育み人間関係構築の基礎を形成する。 野外活動を通じて地域活動や社会活動を行う。 | | | | | | |
| 家族支援 | | 子どもの発達状況や特性の理解等に向けた相談援助及び情報共有 家族参加型の行事 相談援助 | | | 移行支援 | | 進路先や移行先に関する相談援助及び情報共有 学校や保育所等との情報共有や支援方法の調整 | |
| 地域支援・地域連携 | | 学校等、併用事業所との情報共有、支援方法についての連携、情報共有 相談事業所との連携及び情報共有 | | | 職員の質の向上 | | 外部研修や内部研修、勉強会（月2回）実施 行事計画立案・実施 | |
| 主な行事等 | | 季節行事…餅つき・ひな祭り・夏祭り・ハロウィン・クリスマス等 クッキングイベント…ゼリー作り、味噌汁・おにぎり作り、クッキー作り等 野外活動…モノレール、科学館、公園散策、買い物支援 | | | | | | |